



話すのは太物黄銅棒や銅ブスパー、マグネシウム圧延品を製造する権田金属工業（相模原市中央区）の権田源太郎社長。昨年より株式会社カイゼン・マイスター（本社相模原市緑区）による助言を受け



「品質改善活動は着実に前進している」と

「品質改善活動は着実に前進しているが、その成果を実感している。」

カイゼン・マイスターは、トヨタグループでトヨタ生産方式を実践してきたエキスパートの集団。権田金属は月に1

品質改善活動 着実に前進

1-2回のペースで同社の講師に来てもらい、改善点について指導を受ける。創業100年が視野に入る老舗伸銅メーカーの現場は、モノづくりのノウハウがつま

っている。それでも、仕掛品を以下に減らすかや、ポトルネックになっている工程を以下にスムーズに流すかといった観点では、「やはり現場の見た方が違う」と感じる。

不良品率はもとより低い自信があったが、改善活動を強化してからさらに低減。太物黄銅棒やブスパーの市場環境は厳しいが、品質やコストで存在感を高める。マグネシウム製品についても、難燃性材料で建材向けの案件が断続的に出てきており、市場の本格化に備えた研究開発に注力する。

(史)

横浜伸銅株式会社 営業部
TEL:045-461-0941 FAX:045-461-6305